

第18回 全国高等学校英語スピーチコンテスト実施要項

1. **趣 旨** わが国の高校生の英語による表現力を伸ばし、英語学習に対する関心を高めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成に資する。
2. **主 催** 全国英語教育研究団体連合会（全英連）
3. **後援**（昨年度実績） 文部科学省、外務省、東京都教育委員会、読売新聞社、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館、アメリカ大使館、NHKエデュケーショナル
4. **大会運営** 全国英語教育研究団体連合会高校部会事業部
5. **実施概要**
 - (1) 都道府県大会（以下、県大会とする）を実施し、県大会で選ばれた代表がブロック大会に臨み、ブロック大会で選ばれた代表が東京での全国大会に臨む。
 - (2) 全国大会は、ブロック大会の成績優秀者（各ブロック2名）により行う。
 - (3) ブロック大会は、県大会の成績優秀者により行う。ブロックは次の9つとする。
北海道、東北、関東甲信越、東京、東海北陸、近畿、中国、四国、九州
 - (4) 県大会の成績優秀者は、各都道府県の高等学校英語教育研究団体が主体的に選考する。
 - (5) 全国大会は、第1部、第2部の2部制とする。（各部の参加資格については、8. 参加資格の項を参照）各ブロックは、第1部に1名以上の参加者を出すものとする。
 - (6) 第2部において Questions & Answers（Interaction=「やり取り」）を実施する。
6. **期 日**
 - ① 2026年2月7日（土）オリエンテーション 15:00～ リハーサル 16:30～（予定）
 - ② 2026年2月8日（日）第18回全国高等学校英語スピーチコンテスト

時 程	9:30	開会式
	9:45～12:40	スピーチ開始～終了
	14:00（予定）	閉会式（賞状授与）
	閉会式後、審査員からの個別講評の時間	※参加者は2日間とも出席すること。
7. **会 場** 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール
8. **参加資格**

わが国の高等学校および高等専門学校（1～3学年）などの学校に在籍し、全英連の各ブロック大会においてブロック代表として選出された生徒とする。（1ブロック2名以内とする。）

ただし、過去に全国大会にて入賞した者は参加できない。

第1部に参加できる者は、下記(a)～(c)のいずれにも該当しない生徒とする。

(a)満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏（英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。 ※英語圏詳細については別途、全英連ホームページに掲載する。ホームページ掲載は、6月下旬の予定。

(b)日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。

(c)満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。
9. **論 題**

自由（未発表のオリジナル原稿による prepared speech）

ただし、ブロック大会、全国大会を通じて、スピーチの内容に大きな改変を加えてはいけない。

生成AIによる生成物を自己の成果物として提出・発表するのではなく、自分自身による思考形成を経た、自らの意思や情熱を表現した原稿を発表すること。
10. **制限時間** 4分30秒～5分30秒
11. **審査基準**

第1部	内容 Content 50点、英語 English 30点、話し方 Delivery 20点、	合計 100点
	Questions & Answers（Interaction）は実施しない。	
第2部	内容 Content 50点、英語 English 30点、話し方 Delivery 20点、	
	Questions & Answers（Interaction）20点	合計 120点
12. **審 査 員**

審査委員長 鳥飼玖美子（立教大学名誉教授）

審査委員 新崎隆子（会議通訳者）、ゲーリー・スコット・ファイン（元東海大学教授）、ピーター・バラカン（ブロードキャスター）、ケイト・エルウッド（早稲田大学教授）、鈴木希明（中京大学准教授）、米山明日香（青山学院大学准教授）、

13. 全国大会への参加費用

参加生徒の往復旅費・宿泊費は、全英連は負担しない。

14. 引 率 参加生徒は必ず教員が引率する。

[附則]

1. 参加資格

- (1) 参加資格の項にある学校に在籍する外国籍の生徒も参加できる。ただし、留学生は参加できない。
米軍基地内の学校のように、外国の学校に在籍する生徒は参加できない。
参加者は学校長の推薦を必要とする。参加者については、当該学校長は推薦の際、参加資格に抵触しないことを証するものとする。
- (2) 検討が必要とされる場合は、全英連高校部会事業部が判断する。

2. 制限時間

- (1) 計時は、生徒の第1声から開始する。
- (2) 4分、4分30秒、5分、5分30秒の時点で時間を示す。
- (3) 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。
- (4) 第2部の Questions & Answers (Interaction) は、制限時間には含めない。

3. 審査

- (1) 第1部、第2部の審査・表彰はそれぞれ個別に行う。
- (2) 内容・英語・話し方（第2部は、Questions & Answers (Interaction) を含む）の観点を踏まえ、スピーチを総合的に審査する。
- (3) 各審査委員の順位を集計し、それを基に審査委員で協議し最終順位を確定する。

4. 宿泊

宿泊を必要とする参加者は、原則、各自で手配する。

5. 著作権

本大会参加生徒のスピーチの著作権は主催者に帰属する。

6. その他

発表者はマイクを使用する。

全国英語教育研究団体連合会（全英連） <http://www.zen-ei-ren.com/>

[事務局所在地] 〒162-0808 東京都新宿区天神町1番地 天台ビル6F

TEL/FAX: 03-3267-8583

[ブロック大会問い合わせ先]

*** 各都道府県大会に関しては、学校を通して各都道府県の担当者にお問い合わせ下さい。**

ブロック	責任者	所属校	ブロック	責任者	所属校
北海道	高 椋 勇一	北海道札幌東高等学校	近 畿	山本 英樹	奈良県立奈良高等学校
東 北	成 田 桂	秋田県立大館桂桜高等学校	中 国	加藤 敦子	山口県立光高等学校
関 東 甲信越	石井 典子	茨城県立太田第一高等学校	四 国	足達 敬子	高知県立須崎総合高等学校
東 京	櫛野 千織	東京都立三田高等学校	九 州	田中 秀和	佐賀県立鹿島高等学校
東 海 北 陸	林 輝将	岐阜県立飛騨高山高等学校			

[全国大会問い合わせ先]

全英連高校部会事業部長 佐藤 ルミ（東京都立西高等学校）

〒168-0081 東京都杉並区宮前4-2 1-3 2

メールアドレス Rumi_1_Satou@member.metro.tokyo.jp